

3月1日（金曜日）

2月が去り、今日から3月です。朝のうちは雨が降っていましたが、天候が回復し暖かさを感じるようになりました。今日は今年度最後の「読み聞かせ」がありました。子供たちは読み聞かせを楽しみにしており、姿勢よく聞いています。学校だよりも書きましたが、家で読書をしていない子供が多いようです。学校では図書貸し出しを積極的に行うと同時に、学級文庫を充実させ読書する機会を増やしています。最近、本を手に行っている子供が少しずつ増えてきています。すぐに本を取り出し読んでいくことで、本の楽しさを味わうことができます。ご家庭で、ぜひ『毎日5分親子読書』を始めましょう。学校長



3月4日（月曜日）

今日から、卒業証書授与のための練習が始まりました。在校生の代表である4・5年生が3校時に、卒業生が5校時に行いました。在校生の練習は、座り方や立ち方などの所作や別れの言葉、歌の練習をしていました。初めて声や歌を合わせたとは思えないほどのできで、本当に驚きました。日頃からの指導が実を結んでいることを実感しました。そして6年生。初めに私が、「最高の卒業式にしよう！」と声を上げました。6年間の学習の成果を発表する場が「卒業式」であること、主役である卒業生が気持ちよく羽ばたけるために在校生が頑張ってくれていること、練習でできていないことは本番でもできないこと、やらされているのではなく自分から進んで練習に参加すること、の4点を話しました。歌の練習が今日の中心でしたが、最高の卒業式にするために力を合わせて頑張りました。学校長



3月5日（火曜日）

学年朝会がありました。今日は冷たい風が吹く中でしたが、1年生が静かに座って待っています。今月の生活目標は「1年のまとめをしよう」です。この1年間で頑張ったことやうれしかったこと、楽しかったことはありますか？みんなの前で話ができる人は、前に出てきてください。学年主任がこのように話す、8名の子供たちが前に並びました。勉強を頑張った、先生の話をよく聞いた、楽しく遊べた、秋まつりを頑張った、跳び箱を頑張った、などたくさん出てきました。また、2年生になったらかけ算を頑張りたい、2年生に親切にしてもらえたので今度はぼくたちが



1年生に親切にしたい、などの声もありました。入学からまもなく1年経ちます。心も体も大きな成長が見られた1年生です。学校長

3月6日（水曜日）

昨日は啓蟄でしたが、今日は真冬の寒さになりました。極寒の中でしたが、5校時に心温まる「6年生を送る会」を体育館で行いました。いろいろな場面でお世話になった6年生に感謝の気持ちを表すとともに、6年生には在校生の気持ちを受けて中学校へ羽ばたく準備になる会になりました。6年生の保護者の方も大勢来校していただき、会が盛り上がりました。それぞれの学年の出し物を見て思ったことは、みんな6年生のことが大好きなんだということです。6年生への感謝の気持ちが伝わってきました。テーマである「ありがとう 皆のヒーロー いつまでも」まさにその通りでした。そして6年生は、感謝の気持ちをこめた合奏を披露してくれました。約1時間の会でしたが、とても充実した内容の濃いものになりました。6年生ありがとう、在校生ありがとう、そして保護者の皆様ありがとうございました。狭山小が一つになった気持ちがしました。学校長





3月7日（木曜日）

3校時に体育館で、4年生が総合的な学習の時間の授業を行いました。ゲストティーチャーとして、目の不自由な方にお越しいただきました。4年生は「コミュニケーションを広げよう」の単元で、福祉についての学習をしています。12月に「白杖体験」、1月に「車いす体験」をして、本日は「盲導犬」について学びました。子供たちからの質問に丁寧に答えていただいたあと、盲導犬『ヴァリー』の一日を紙芝居で見せてくださいました。そのあとクイズタイムがあり、盛り上がりました。そしてヴァリーのユーザーさんとヴァリー、代表の子供たちと実際に一緒に歩きました。ユーザーさんは、盲導犬のことを少しでも知ってもらえてうれしかったです、と感想をおっしゃっていました。お寒い中、本当にありがとうございました。入間CATVの取材もあり、「ニュースいるま」で放送予定です。3月12日（火曜日）17:45、22:15と翌日の9:00です。お時間がありましたら、ご覧ください。学校長



3月8日（金曜日）

登校時の雪の降り方が心配でしたが、大きな事故やけがもなく安心しました。3校時に体育館で、在校生代表の4・5年生が卒業式練習を行いました。今日で2回目になりますが、前回以上にわかれの言葉や歌が上達してきました。卒業生と比較すると出番はとても少ない分、待っている時間が長くなります。待っているときの基本姿勢を教えられ、起立・礼・着席などの所作もとてもよくなっています。1年後あるいは2年後の自分を想像しながら、練習に参加していることが伝わってきます。卒業生と在校生が一緒になって練習する日は、来週12日の火曜日です。最高の最幸な卒業証書授与式にするために、子供も教師も全力で取り組んでいます。学校長



3月11日（月曜日）

東日本大震災から13年。能登半島地震と関連させて、朝の会で子供たちに3つの話をするように指示しました。1つめは地震はいつ起きるかわからないこと、2つめは自分の命は自分で守ること、3つめは大人の言うことをよく聞くこと、です。さて、今日を含めて6年生は狭山小の給食を食べる回数があと8回になりました。いよいよカウントダウンです。今日の給食は、こぎつねご飯とイカのかりん揚げ、沢煮椀、牛乳でした。いただきます直後の6年生の教室の様子を見ましたが、男女問わず大勢がおかわりに並んでいました。ご飯と沢煮椀をおかわりした女子が、「狭山小の給食って本当においしいです。」と伝えてくれました。みんなが笑顔になるのが給食の時間です。全部和食のメニューで、味わって食べている姿が見られました。学校長



3月12日（火曜日）

朝8時半から1校時まで、体育館で卒業式の全体練習がありました。今日が初めて、卒業生と在校生が一緒になった練習です。わかれの言葉や歌の練習を中心に行いました。わかれの言葉は、本番さながらBGMを入れて行います。タイミングを見計らって言葉が始まります。ほとんどの子供が台詞を覚えています、やや自信がない場面になるとどうしても声が小さくなりがちです。残すところあと少しなので、一生懸命覚えて自信を持ってほしいです。それにしても、歌というのは人の心を動かしてくれます。卒業生と在校生が一緒になって歌う「Wish～夢を信じて」



<https://www.youtube.com/watch?v=1-w5QLb5jDs> とってもいい歌です。私は初めてこの曲に出会いましたが、歌詞も曲も感激します。一生懸命歌う姿に、いつもウルウルしています。学校長



3月13日（水曜日）

今日の給食は、子供たちが大好きな「カレー」です。献立表には「チキンカレーライス」と書いてあり、栄養士に話を聞いたところ、2月に出した「豚肉ゴロゴロカレー」との違いを出すためとのこと。また、いつものカレーは手羽肉を使っているそうですが、今日はもも肉で作ったそうです。味のよさを感じました。さらに、ジャガイモはいつも以上に多くの量が入っていました。12日の焼きそばには「いか」が入っていたり、これから献立には書いていない果物も出るようです。狭山小の子供たちや教職員の元気の源である給食。残食量はいつも1キロ未満です。「ゼロ」の日もあるほど、狭山小の給食はおいしいです。新調した給食着を着て、ニコニコしながらワゴンを運ぶ子供たち、みんな笑顔です。学校長



3月14日（木曜日）

冷たい雨や強風ではなく、春を思わせてくれるような陽気です。運動場を見ると、6年生が体育の授業で「フラッグフットボール」を行っています。聞き慣れない名前なので、簡単に説明すると、アメリカンフットボールからタックルをなくした運動です。タックルの代わりに腰につけたフラッグをとって、得点を競います。この学級では、全部で8つの男女混合チームに分け、リーグ戦をしていました。いろいろなフォーメーションを考え、楽しそうに活動しています。卒業式練習のピリッとした雰囲気から開放され、子供たちは伸び伸びと運動していました。学校長



3月15日（金曜日）

武蔵中学校の卒業証書授与式に参加しました。コロナ禍でもあったので、久しぶりに中学の卒業式を見ました。さすが中学生、とても立派な態度で参加しており、全員合唱「旅立ちの日に」に感動しました。

学校に戻ると、近藤園さんが樹木の伐採作業をしてくださっています。このたびPTAからまとまったお金をいただくことができ、運動場の南側にある「シラカシ」や体育館の裏にある「イチョウ」を伐採します。チェーンソーの音が鳴り響き、職人さんが手際よく作業しています。根元付近にV字型になるようにチェーンソーを入れ、上の方にくくりつけたロープを数名で引っ張り木を倒します。職人さんから、改めてチェーンソーの使い方や根元の仕上げ方などを教えていただきました。「あの木は私が途中まで切ったんですよ。」と話すと、「素人であそこまで切れたらたいしたものですね。」と誉めていただき、うれしくなりました。いくつになっても誉められるとうれしいものですね。保護者の皆様、お時間があるときに来校し、スッキリした樹木たちをご覧ください。学校長



3月18日（月曜日）

3校時に2年生が、家庭科室で「ポップコーン」を作っていました。畑でトウモロコシを育て、たっぷり干したあと収穫して今日に至りました。去年まではホットプレートで作っていたそうですが、かなり焦げてしまったとのこと。そこで今年は、本校職員が持参した「ポップコーンメーカー」で作っています。その機械をじっと見つめる子供たち。ポンポンとはじけ出すポップコーン。見ていてワクワクしました。すでに作り終えた子供たちは試食しています。そして、紙コップには何やら文字が書かれています。お家の方への感謝のメッセージのようです。2年生が持ち帰ったポップコーンを、ぜひご家庭で召し上がってください。学校長





3月19日（火曜日）

8時半から卒業式の「予行」がありました。時間までに在校生は着席し、卒業生が入場してくるのを静かに待っています。本番さながらに行いますので、いつも以上に緊張感がありました。開式の言葉のあと国歌や校歌を斉唱し、いよいよ卒業証書授与です。教頭とタイミングを合わせながら、卒業生に証書（のようなもの）を手渡します。表情がこわばっている子供もいましたが、ほぼこれまでの練習通りにできています。校長の式辞は簡略化し、来賓紹介です。今回15名の方をお呼びするにあたり、卒業生は体の向きを変えて会釈をします。そしてわかれの言葉。これまでの練習の成果が発揮され、できがよかったです。閉式の言葉のあと、卒業生退場。1時間を少し超えましたが、卒業生も在校生も集中して取り組んでくれました。来週の月曜日、いよいよ当日を迎えます。学校長



3月21日（木曜日）

とうとう給食最終日になってしまいました。進級・卒業おめでとう献立で、赤飯や煮しめ、山海汁、フルーツゼリー、牛乳が出されました。フルーツゼリーはとても時間がかかるので、4人の調理員さんは30分早く出勤して作っていただきました。また、学校給食センターから2名が来校し、給食を召し上がっていただいたり、子供たちが食べている様子を参観したりしました。おいしい給食だと自然に笑顔になりますね。6年生にとっては、小学校で食べる最後の給食になります。味わいながら食べてほしいです。学校長



3月22日（金曜日）

6年生が、最後の卒業式練習をしました。3月4日の最初の練習から、かなり完成度の高いものになったと実感しました。所作だけでなく、椅子に座っている姿勢や立ち方、礼の仕方など立派です。「最高（最幸）の卒業式にしよう。」のキャッチフレーズで始めましたが、練習でできていないことは本番でもできないことを話してきました。そして、やらされているのではなく、自分から進んで練習に参加することも伝えてきました。期待に応えてくれる6年生です。来賓の中には、狭山小の卒業生も数名いらっしゃいます。立派な態度を見せつけてほしいです。学校長



3月25日（月曜日）

少し雨が降ってはいましたが、第66回卒業証書授与式が無事に終わりました。今年度は久しぶりに多くのご来賓も来校し、式を盛り上げてくださいました。私は、一人一人に証書を手渡すときに「卒業おめでとう。」と声をかけました。子供の中には「ありがとうございます。」や「お世話になりました。」といった一言が返され、うれしく思いました。厳粛な中で式は進み、式辞は卒業生との出会いから始まったこの1年を振り返り、私が担任をしていた頃の言葉を卒業生に贈りました。わかれの言葉では、卒業生も在校生も力を出し切り、とても温かい雰囲気になりました。卒業生が退場し、6年担任が退場したときや在校生のリコーダーの演奏が終わったときに、保護者の方から大きな拍手をしていただきました。予想していなかったのもとても驚きましたが、体育館内がさらに温かい雰囲気になりました。来賓や職員の中にもこのことを話題にしていました。多くの方々に見守られながら卒業していった68名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。学校長



3月26日（火曜日）

体育館で修了式を行いました。6年生が卒業したので、人数が少なく感じました。校歌斉唱は5学年分のパワーがあり、体育館中に声が響きました。校長の言葉として、昨日卒業生に贈った2つの言葉を話しました。1つめの「精一杯やろう」は、どんなことも全力で挑戦すること、困難にぶつかっても最後まで粘り強く頑張ること、やるべきことを精一杯やることを話しました。2つめの「誰かになろう」は、困っている人や悩んでいる人がいたら、誰かが声をかけるだろうではなく、「誰か」に「あなた」がなってほしいと伝えました。児童代表の言葉として、1年生と5年生、特別支援学級の5年生の3名が登壇しました。この1年間を振り返って頑張ったことの思い出や、次の学年の目標を堂々と発表してくれました。2時間目以降に、通知表が担任から渡されました。子供にとって12日間の春休みになりますが、事故なくケガなく楽しい春休みにしてほしいです。  
学校長

